



Shika Town

No.133

9

2016  
(平成 28 年)

石川県消防操法大会で  
土田分団が初優勝！







優勝した土田分団の皆さん・・・分団長：松本 淳一 旗手：野沢 貞則 指揮者：安田 真也 1番員：村木 雄馬 2番員：中野 雄太  
3番員：中島 達也 4番員：田島 善人 補助員：川端 宏 補欠：前田 世界



優勝旗を受け取る土田分団



松本分団長を胸上げる土田分団員

第64回 石川県消防操法大会

# 土田分団が初優勝！全国大会へ

7

月30日(土)、石川県操法大会が金沢市の石川県消防学校で開かれ、地区予選を通過した18分団が会場に、ポンプ車から63m先の的に水を当てる消火の基本操作の速さと正確さを競いました。

志賀町からは、羽咋都市大会ポンプ車操法の部で優勝した土田分団と、準優勝した東増穂分団が会場に、日頃の練習の成果を発揮しました。東増穂分団は9位で、土田分団は見事、優勝を果たしました。優勝した土田分団は、10月14日(金)に長野市で開催される全国消防操法大会に、石川県代表として出場します。選手一同、全国大会に向け、西山台の防災公園で日々練習に励んでいます。皆さんの励ましが選手の力になります。どうぞ、応援よろしく願います。





【東増穂分団】 ①火点に向かう2番員 ②放水する1番員 ③整列 ④とびを構える3番員



【土田分団】 ⑤ホースを運ぶ1番員とホースを伸ばす2番員 ⑥放水する土田分団



SATOHAMA MADE

「能登金時」

秋の味覚、  
サツマイモが  
今年も美味しく  
実りました。



紹介  
する人

J A 志賀  
甘藷部会会長  
よねざわ ひろじ (68歳)  
**米沢 裕二**さん

大島のサツマイモ畑 (8月17日撮影)

日本海沿岸で  
育った能登金時。



**米沢さん** 志賀農協の甘藷部会員は現在12人です。甘藷とはサツマイモのこと。中甘田・下甘田地区の生産者の畑4haで、サツマイモ「能登金時」を栽培しています。能登野菜にも認定され、七尾市出身の世界的パティシエ・辻口博啓氏のスイーツ素材としても選ばれました。

能登金時の特徴は、まず程よく水分があり、冷めても美味しいこと。そして出荷が早いことです。4月末から温床で育てた苗を畑に植え始めます。5月中旬まで霜が心配なので、中央が透明で両端が黒のマルチフィルムをかぶせます。中央部は太陽光を通し地温を確保、両端は遮光で雑草を予防します。また、毎年病気の無いウイルスフリー苗に更新し、安定生産に努めています。収穫後の種芋は、J Aのキュアリング施設や昔ながらの芋穴に貯蔵します。栽培品種は鳴門金時と同系の「高系14号」。株元に必ず実るため、掘り起こし

の時に、サツマイモを探しやすいのが特徴です。8月末から掘り起こしを始めますが、残暑厳しく作業には大変苦労します。生産者の高齢化も進んでいますが、ベテランの知恵と愛情で「能登金時」を育てています。今年も、色合い・形状・食味ともに良好です。主に金沢に出荷していますが、地元では、みちのえき旬菜館で、箱入り・小袋で販売しています。今年はこの駅姉妹駅でNHK大河ドラマ「真田丸」の舞台である和歌山県九度山町でも販売し、販路を拡大します。

能登金時は、デンプンやビタミンC、食物繊維が豊富で、便秘予防にも効果があります。採れてから2週間ほど置くと、甘みが増し、美味しくいただけます。

栄養満点で美味しい地元野菜「能登金時」をぜひ食べてみてください。天ぷらやふかしイモ、大学イモなど、さまざまな料理で、秋の味覚を楽しむことができますよ。



甘藷部会の皆さん



志賀町は、県内有数のサツマイモ産地です。能登金時は能登野菜のひとつで、甘みが強くホクホクとした食感です。

販売は・・・ 圃みちのえき旬菜館 (末吉新保 10) ☎ 32-4831 販売期間 / 9月上旬～10月上旬 価格 / 時価

山の幸